

<http://blog.livedoor.jp/manasazae1222/>

November 09, 2010

Power of Art!

実家に帰ったらば、なにやら大ブーイング。オランダみやげに買ってきたコーヒーが、超マズイらしい。

いやいやいや、オランダのコーヒーっておいしいんだよー、有名なんだよー、カフェとかでも、めっちゃおいしかったんだから～と言おうものなら。

「薄くて苦い」

と、おそらくコーヒーの味を表現する中では、ワースト部類にカテゴライズされる言葉をふたつも並べられたところで、もはや弁解の余地なし。

オランダのコーヒーって、ほんとうはすごくすごくおいしいのです。おみやげとしても有名だし、知る人ぞ知る「特産品」なのです。

えーなんでよりによって買ってきたやつがおいしくないのお～。何が悪かったんだろう・・・と、しょんぼりつつぶやいたら、

「あんたのおみやげ選ぶセンスでしょ」

と、母の快心の一撃。ちーん。

さて、名古屋に行く直前に立ち寄った展覧会、「オランダのアート&デザイン新・言語」@東京都現代美術館。

「アートはモノではない。デザインはカタチではない。」

というキャッチフレーズが書かれてありました。その意図するものは、まさに今回の展覧会が伝えるメッセージ、オランダの現代アーティストたちが表現したいと思っているものなのです。

「環境と消費」だとか「都市と社会システム」など、今日的な問題をベースとしつつ、モノと人であったり、人と人のつながり・コミュニケーションをテーマとしたアート作品が展示されていまし

た。

なかでも、マルティン・エンゲルブレクトというアーティストの作品には、もう仰天しすぎて、感動しすぎて、ただただぼかーんとしてしまいました。

ご近所さん付き合いをするための発明品として、「おとなりさんに鍵を預けるための箱」とか、夜中のごみ出しも平気！な「足音が鳴らないクッション入りサンダル」など、ご近所付き合いを活性化させるような便利グッズを売るご近所ショップを生み出したり、商店や農家の残飯や不良品などのゴミになる食材のみを使ったレストランをプロデュースしたりとか。

そういうのを通じて、人と人がつながりを作ったり、つながりの大切さに気付かされたり、豊かさゆえの大量消費・家族関係の希薄さ・ムダの多さなどの、社会問題を突きつけられたり。

モノでもカタチでもなく、本当に「人」と「人」をつなぐものとしての「アート」があふれていた。なんて人間臭い。なんていとおしい。改めて、アートの生み出す力を感じる。

あとはもうひとつ。

アムステルダム国立美術館（Rijks Museum）を訪れた際に、とにかく絵画見るのに時間かかりすぎて閉館のぎりぎりまでいたのですが、最後の出口のところに衝撃を受けた作品がぼつりと置いてあった。

マーティン・バースというアーティストの映像作品「Real Time」というもので、閉館時間だからあわてて美術館を出るとき、思わず足を止めて見入ってしまった作品だった。

何の変哲もない時計なんだけど、よく見てみると、時計の中に男の人が入っていて、時間が進むたびに針をマジックで書いたり消したりして、時間の歩みを表しているという映像作品。（こんな説明よりも、とにかくみなさまに見てほしい！くらい、おもしろいのだ！）

その時計の中の男の人の動きに見入っていたら、「はい閉館なんで出てくださいねー」と、アムステルダムでは警備員さんに追い出されたのですが。

なんと、今回の現代美術館の展覧会に、マーティン・バース作品が展示されていたのー！あの

「Real Time」が展示してあったのです！びっくり！

「こんなところでまたお会いするなんて！」と、思わずその時計の中の人に駆け寄って声をかけたく

なってしまった。

時計、時間の歩みをさまざまな映像作品で表現しているマーティン・バースの作品がたくさんあって、時間の流れとか、日々の瞬間とかって、こうやって一生懸命・ちょっとずつの積み重ねであって、こうやって人間は毎日を送っているんだなあって思った。

このオランダ現代アートの展覧会を見ていて、「アート」のもつパワーを感じた。

人と人のつながりとか、日常をちょっとだけ楽しくする工夫とか、今の社会をほんのちょっと素敵に輝かせるエッセンスたちが、アートによって作り出され、ちりばめられていることに気付いた。

先日、もうひとつ展覧会に行ってきました。

アート業界に精通している知人がいるのですが、その知人が絵画のモデルとマネジメントのサポートもしているアーティストさんの展覧会です。油絵です。しっとりとした雰囲気の佇む絵画が、なんとも居心地の良い、神田の老舗ギャラリーに飾られていました。

でね、そこの老舗ギャラリーのオーナーの女性が非常に面白い人で、現代のアート業界の話だとか、展覧会のコンセプトだとかを語っていただいたの。わたしが国際開発を専攻していて、国際開発への幅広い理解とか、世界の現状を伝えていくうえでのひとつのツールが「アート」であるんじゃないかと思うんですけどー・・・みたいなことを言ってみたらね。

「その通りです、アートは人間の生活のあらゆる場面で非常に重要な役割を果たすんですよ！」

と書いていただいた。

アート作品を見れば時代がわかる。世界もわかる。現代社会の問題にも気づかされるし、人と人もつながる。工夫次第で、世界はもっとステキになる。

なんかそこまで考えて、鳥肌立って帰ってきた。

すっかりインスパイアされてしまい、日々の生活の中でどんなふうな遊びゴコロを発揮したらおもしろいかなあとか、あれやこれやと考えていたら、もうなんだかそれだけで楽しくなっちゃう。

ほんとに創作意欲掻き立てられまくりました。芸術の秋です、芸術の秋！

後引いてるなあ、オランダ。とりとめなくてすみません。

最後に、冒頭のコーヒー話に関連させてですが。

最近、東ティモール産のコーヒーにはまっています。JICA地球ひろばで買った、フェアトレードのやつです。

土臭い感じの深いコクがあるのに、なんか飲みやすい。毎朝遅刻してでもコーヒーを淹れて、オフィスに持って行っていきます。

プノンペンで購入した、一村一品のカンボジアコーヒーもなかなかおいしかったのですが、東ティモールコーヒーはさらに好みでした。しばらくは東ティモールちゃんが朝の友かしら♪

芸術の秋にコーヒーの秋です。それに加えて、食欲の秋にも全速力で邁進中です。